

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員

年会費 継続：2,500円
新規：3,000円
会員限定HPの閲覧



シーズンパス会員

年会費 5,000円

年間のリーグ戦が無料で観戦可能



同時入会会員

年会費 継続：7,000円
新規：7,500円
同時入会だとさらにお得！



色紙
フレスコ

→中大座談会の様子



→中大座談会の様子
更新

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式HP内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFAハウス 7F
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ
E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを
ゲートにて500円(税込)
で販売しております！

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください！

【次節の情報】

◆6月13日(土)

@流経大 G (※東経大キャンパス内グラウンド)
筑波大 vs 東洋大 11:30 Kick off
@日体大 G

関学大 vs 日体大 11:30 Kick off
@東国大 G

東国大 vs 青学大 11:30 Kick off
◆6月14日(日)

@早大 G
拓大 vs 東学大 11:30 Kick off
@東海大 G

産能大 vs 東海大 11:30 Kick off
@朝鮮大 G

日大 vs 朝鮮大 11:30 Kick off

※2試合目(13:50)

Kick offは1部の試合となり
ます。

詳しくは本連盟HP
http://www.jufa-kanto.jp/
をご覧ください。

※全ての会場は入場無料
となります。
皆さまのご来場お待ちしております。



本連盟HP



JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM



Division 2 2015-No.10

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ

前期残り2節！勝ち点を伸ばすのは…

前期リーグも残り2節となったJR東日本カップ第89回関東大学サッカーリーグ戦。2部リーグでは上位校と下位校では明暗が分かれ始めてきた。

第9節の東洋大対青学大の一戦では、東洋大自慢の得点力が爆発。得点ランキング首位の遊馬(4年)の得点を含む4得点を挙げ東洋大が快勝した。東国大対拓大の試合は、東国大が終始押し気味に試合を進め、初スタメンの町田(1年)の2アシストで2-0で勝利。東学大対東海大戦では東学大が先制し、そのまま逃げ切った。日大対産能大の一戦は、日大が先制点をあげるも産能大が85分

得点ランキング		アシストランキング	
遊馬 将也(東洋大)	10点	仙頭 啓矢(東洋大)	6アシスト
高井 和馬(日体大)	6点	木村 魁人(関学大)	6アシスト
藤井 貴之(日体大)	6点	高野 遼(日体大)	5アシスト
木村 魁人(関学大)	6点	戸崎 祥郎(筑波大)	5アシスト
北川 稜斗(筑波大)	6点	金 秀勇(朝鮮大)	4アシスト
中野 誠也(筑波大)	6点	菅沼 優聖(関学大)	4アシスト
その他	6点 3名	以下	3アシスト 3名

半日大が追加点をマーク。未だ4失点という日体大の堅い守備を前に、朝鮮大はもう1点を返せず試合終了。日体大が順調に勝ち点を伸ばし、連勝を9とした。

第10節後に始まるアミノバイタルカップに向けて、どのチームも勝利を飾って勢いに乗りたいところだ。気温も位・日体大は朝鮮大と対戦。先制した日体大に朝鮮大が一度は追いつくが、後

JR東日本カップ2015第89回関東大学サッカーリーグ戦 2部星取表

[2部第9節終了時]

チーム名	日体	関学	筑波	東洋	青学	東学	東国	朝鮮	拓大	産業	日本	東海	勝点	試合数	勝数	分数	負数	得失点	得失点差	順位			
日本体育大学			100		301	200	300	201	201	401	500	100	27	9	9	0	0	23	4	19	1		
関東学院大学			403	301	502	504		100	102	201	300	301	24	9	8	0	1	27	14	13	2		
筑波大学	001	304			001	502	402	400	501	402	201	18	9	6	0	3	27	14	13	3			
東洋大学			103		400	101	010	002	201	401	400	701	17	9	5	2	23	9	14	4			
青山学院大学					004	100		303	101	200	401	201	14	9	4	2	3	16	18	-2	5		
東京学芸大学			002	405	100	101	001		200		202	001	100	11	9	3	2	4	11	12	-1	6	
東京国際大学			003		205	010		002		010	200	204	100	300	11	9	3	2	4	10	14	-4	7
朝鮮大学校	102	001	204	200	303			010	303	101		201	10	9	2	4	3	14	15	-1	8		
拓殖大学	102	201	004	102	101		002	303			101	202	7	9	1	4	4	11	18	-7	9		
産業能率大学	104	102	105	104	002	202	402	101			101		6	9	1	3	5	12	23	-11	10		
日本大学	005	003	204	004	104	100	001		101	101			5	9	1	2	6	6	23	-17	11		
東海大学	001	103	102	107	102	001	003	102	202				1	9	0	1	8	7	23	-16	12		

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分を超えて、進もう。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会



サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



筑波大学 VS 青山学院大学

5月23日(土)
11:30
たつのこ

筑波大が3連勝で迎えた2位・関学大との重要な試合は、壮絶な打ち合いの末3-4で痛く敗戦を喫した。前半は攻めつつも関学大にゴール前でしっかりと対応され無得点、後半に入ると立て続けの失点とPKでなんと4点を献上。相手に退場者が出た終盤に3点を返したが、小井土正亮監督は「完全に力負け」と脱帽した。昇格圏から離れたために、残り2試合は負けられない。

対する青学大は前節、東洋大に0-4で敗れた。得点差ほど内容に差があったわけではないが、25分に「給水タイムの後、ふわっとした感じで入ってしまった」（福永泰監督）ことで失点。その後の拮抗した時間帯に得点を奪えず、終盤に失点を重ねてしまった。上位との差がやや開いてしまったが、今節は筑波大を相手に、「連敗しないこと」（福永監督）が最低限の命題だろう。

中野誠也 (筑波大・FW・2年)
相手が10人になって点が取れただけで、自分たちは特に何もできずに終わってしまい、正直、完敗だったと思う。得点は仕掛けて取りに行ったというよりは無心で飛び込んでいって決めた。
次節、勝たなければ昇格圏内に入るのは難しいと思うので、勝つことを目標にチーム全員でやってみようと思う。



瀧川泰樹 (青学大・FW・1年)
負けましたが、内容は決して悪くなかった。しかし、得点につながるゴールを決めることができず、4失点してしまったので守備面の細かい部分を修正していきたい。9節が終わわり、チームとして完成してくる頃なので、連勝の波に乗りたいたいと思う。



3 回警告：なし
出場停止：澤井政樹 (青学大)
昨年度の対戦：なし

東洋大学 VS 日本体育大学

5月24日(日)
11:30
千葉東稔

連勝が途切れ、3試合足踏み状態が続いていた東洋大。前節は青学大に4-0で勝利した。Gの連戦を終えて気分転換を図り、立ち上がりから積極的な攻撃で25分にエース・FW遊馬将也(4年)が先制点。「もっと曇りかけなければいけない展開だったが、苦しみながらも持ちこたえてくれた」（古川毅監督）と、終盤は得点を重ねた。日体大の堅い守備を崩して首位との差を縮めたい。

その日体大は前節も朝鮮大を2-1で破り、一昨年の東国大の記録を抜く開幕9連勝を飾った。得点は僅差だったが、シュート数は13-3と圧倒。守備を固めカウンターを狙う朝鮮大を崩すのに苦労しつつ2得点。守備ではDFンダカ・ポニフェイス(2年)を中心に反撃を1失点に抑えた。群を抜く失点の少なさで残り2試合、上位グループの東洋大・関学大も抑えることができる。

田中舟汰郎 (東洋大・FW・3年)
前節は関学大に負けましたが、今節は内容的にも結果的にも満足できる試合ができた。監督から「積極的に仕掛けていけ」と練習の時から言われていたので、「縦」を意識して試合に臨んだ。次節は首位日体大と対戦するが、みんなで戦って勝ち点3を取りたい。



川戸大樹 (日体大・MF・3年)
相手が勢いのあるチームで、前半はあまり良い崩しが出来なかったが、普段練習している形で得点できた。後半も流れは悪化したが、追加点を取れて、その後もしっかり守って勝つことが出来たので良かった。現在、9連勝だが、気を抜くことなくしっかり試合1試合勝てるように頑張りたい。

3 回警告：遊馬将也 (東洋大) / 高野遼 (日体大)
出場停止：増谷幸祐 (日体大)
昨年度の対戦：東洋大1-2 日体大・東洋大3-1 日体大

東京国際大学 VS 関東学院大学

5月23日(土)
11:30
川口

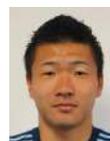
6試合、勝利のなかった東国大。前節は拓大に2-0と久々の白星をゲットした。その6試合でわずか4得点と得点力不足に悩まされていたが、この日は初スタメンのFW町田ブライト(1年)が脅威のスピードとキープ力で2アシスト。また、「守備のルーズさを特に修正してきた」（前田秀樹監督）ことも無失点という結果に出た。総得点トップの関学大をどこまで抑えられるか。

その関学大は前節、3位・筑波大に4-3で勝利。4点を先行したが、86分にFW富樫敬真(4年)が退場して追い上げられ、追撃を振り切って辛くも逃げ切った。それでも、退場者を出してバランスを崩すまでは相手の強力攻撃陣を抑えるほぼ完璧な試合内容。今節も勝って日体大との前期最終節に臨みたいが、得点源の2人と攻撃の要の3人が出場停止という非常事態をどうカバーできるか。

町田ブライト (東国大・FW・1年)
最初は相手に取り戻らされたが、自分達のペースを取り戻しからは少人数でゴールに向かって、点も取れたので全体的には良かったと思う。
シュートが少なかったのも、もっとシュートを増やしていきたい。FWとして得点が欲しいので、点を取りたい。



木村魁斗 (関学大・DF・4年)
直接対決ということで絶対に負けられない試合でした。自分達が主導権持てましたが、4点リードした後、一人少なくなった状態での試合の終わらせ方が良くなかったことが課題だと思います。
筑波大戦の勝利を前向きにとらえて次節も関学大らしいサッカーで勝ちたいと思います。



3 回警告：なし
出場停止：普光院誠、富樫敬真、董沼優聖 (関学大)
昨年度の対戦：なし

東京学芸大学 VS 朝鮮大学校

5月24日(日)
11:30
東海大G

東海大を1-0で破り、4試合ぶりに勝利した東学大。ゴール前を固められ3試合も切れたが、66分に波状攻撃から貴重な1点をゲット。守備では相手のカウンターをケアしてピンチも単発に抑えた。ケガ人の多い中で初先発したFW林勇太(1年)がしっかり起点を作った。「得点力に課題は残るが、失点が減っているのは良いこと」（楡山康監督）。「柔」で朝鮮大の「剛」を制したい。

その朝鮮大は前節、3試合負けなしの状況で日体大に挑んだが1-2で敗れた。先制を許し40分に追い付いたものの、後半は記録上1本のシュートも打たせてもらえず内容的には完敗。日体大の厳しいプレスと強固なDFラインに、朝鮮大の攻撃は跳ね返された。それでも上位3チーム以外からはすべて勝点を奪っている今季。勝点1差の東学大を破り再び上位グループに浮上したい。

五十嵐亙 (東学大・FW・4年)
絶対に勝たないといけない状況の中、チームが一つになって勝てたのは大きかった。また、自分もゴールという形でチームに貢献することが出来て、とても嬉しかった。毎回みんながチームのために一つになってプレーすれば必ず勝てると思うので、自分もゴールという形で貢献できるように頑張りたい。



文寿寛 (朝鮮大・MF・2年)
立ち上がりはチームも自分も入りが悪かったが、時間が経つにつれて良くなった。しかし、後半で失点してしまい、負けました。
今日の敗戦を糧にして、反省点を1週間でもれだけ克服出来るかが次の試合にも大きく影響すると思う。自分自身はもちろん、チームも成長し、次節は絶対に勝ちたい。

3 回警告：韓勇太 (朝鮮大)
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし

拓殖大学 VS 産業能率大学

5月24日(日)
11:30
多摩陸

拓大は前節、東国大と対戦し0-2で敗れた。1勝3敗4分というこれまでの戦いは、内容がなかなか結果につながるものでもなくしさを伴うものだったが、この日は玉井朗監督が「今まで一番悪い試合。ボールを持ってないし、単純なミスも多過ぎた」と嘆いた。結果が出ないことで自信をなくしかけている点も気がかりだが、残り2試合は主導権争いで先手を取って攻め切りたい。

一方の産能大は前節、日大と1-1で引き分け、3試合連続のドロー。相手Gの好守もあったが、パス回しのテンポの良さに対してフィジックの組み込みが今一つ。54分に先制され、相手の運動量が落ちた終盤に猛攻を仕掛けたが同点止まりに終わった。5連敗の後、失点が減ってきたこともあり4試合敗戦はないが、今節は勝点1差の拓大に勝ち切って順位を上げたいところだ。

冨田博斗 (拓大・MF・2年)
0-2という結果になり、チームが下がるとの雰囲気になってしまったかもしれないが、月曜日から立て直せるようにしっかりやっていた。チームとしては全員で戦うことが一番大事だと思う。個人的には東海大戦以来得点を取れていないので、狙っていた。



小池佑樹 (産能大・MF・4年)
今日の試合を振り返り、もっと自分たちの方から攻めないで勝てない試合だったと思った。あと2節で前期が終わるが、(産能大は)まだ下から3つ目なので、勝って後期に繋げられるよう頑張りたい。



3 回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：拓大1-0 産能大 / 拓大0-1 産能大

日本大学 VS 東海大学

5月24日(日)
13:50
東海大G

泥沼の5連敗を脱すべく、産能大戦に臨んだ日大。結果は1-1の引き分けで、勝点止まりとなった。お互いに攻め合う互角の展開となり、勝点1点となった。お互いに攻め合う互角の展開となり、勝点1点となった。お互いに攻め合う互角の展開となり、勝点1点となった。

その東海大だが、前節は東学大と対戦して0-1の敗戦。前半は東学大にボールを持たせてしっかり守り、逆にカウンターからチャンスも作った。無失点で後半を迎え、勝負をかけたかったが守備から攻撃に切り替えた際のサポートが薄く単発に終わって、66分に喫した1点に泣いた。「ここぞという時の1本が出ない」と後藤太郎監督も嘆く。ホームでの残り2試合で初勝利を狙いたい。

高山慎也 (日大・MF・4年)
5連敗している中、まずは連敗を止めようとして、新たな気持ちで試合に臨んだ。勝つことは出来なかったが、勝ち点1が取れて少し前進したかなと思う。常にゴール前のこぼれ球を掴んでいたのが、(球が)良いとこにこぼれてきて、あとは決めただけだった。次節は自分たちより勝ち点3のチームなので、必ず勝ちたい。



小野龍寛 (東海大・DF・3年)
前半は耐えることができたが、後半は相手にチャンスを活かされてしまい、失点してしまったのが残念だ。相手陣地に押し込んだ時、自分たちがプレッシャーをかけ、相手を崩していきたい。連敗が続いているが、前期の残り試合はしっかり勝てるように頑張りたい。

3 回警告：なし
出場停止：なし
昨年度の対戦：なし